

音楽科学習指導案

日時：2019年9月6日（金）5時間目

児童：礼文町立香深井小学校

第5学年 2名

第6学年 1名

計3名

指導者 ○○ ○○

1 題材名

5年生「豊かな表現を求めて」「風とケーナのロマンス」「冬げしき」（5時間扱い）

6年生「豊かな表現を求めて」「明日を信じて」「ス・ワンドフル」（7時間扱い）

2 題材について

5年生「豊かな表現を求めて」

この題材では、「風とケーナのロマンス」と「冬げしき」を通して音楽の豊かな表現方法を学習します。「風とケーナのロマンス」では8分の6拍子の拍の流れにのって旋律のまとまりに気を付け、歌うように演奏し、旋律のまとまり方やくぎり方（フレーズ）を工夫して、パートの重なりや掛け合いを生き生きと表現することがねらいである。また、グループ活動を取り入れ、曲想を生かした表現を求めて、互いの考えや思いを出し合い、演奏を工夫していくことも大切な学習として取り入れていきたい。

「冬げしき」では、歌詞の内容や旋律の感じから、曲想を工夫して表現するように指導したい。簡潔な文語調の歌詞の中に、のどかな日本の冬景色（朝、昼、夕の情景）を歌った、しみじみとした感じの曲ですから、旋律線の長い豊かな起伏を感じ取り、自然な強弱を生かして歌うことを求めたい。

6年生「豊かな表現を求めて」

子どもたちは、魅力ある曲に出会ったとき、「美しい」「楽しい」「ジーンとする」など、その魅力を感じ取る心を持っている。その感動が「自分もこのように表現したい」というエネルギーを生み出していく。この題材では、曲の様々な魅力に十分触れさせることで、より豊かな表現に結び付けようというのが大きなねらいである。

「明日を信じて」では、歌詞を丁寧に読み込んで、自分たちの心情と重ね合わせ、どのような強弱、歌い方で歌うのがよいか話し合い、気持ちを伝えるように歌わせたい。

「ス・ワンドフル」では、パートとパートの掛け合い、強弱の変化を味わいながら楽しく演奏し、スウィングのリズムを体全体で十分に感じることで、聞いている人の気分も楽しくさせるような表現につなげていきたい。

3 児童の実態～省略

4 校内研究との関わり

本校の研究テーマ 「主体的に学びを深めていくことのできる子どもの育成」
～楽しくわかる授業づくりを通して～

仮説1 個に応じた指導・支援を充実させることで、学習内容を正確に理解させることができるだろう。

仮説2 課題解決に向けて主体的な活動を行うことにより、学びを深めることができるだろう。

<手立て>

～5年生～

仮説1に関わる手立て

- ・8分の6拍子のリズム遊びを活動の中に取り入れ、拍の流れを身体感覚を通してとらえさせる。
- ・前時とのつながりを大切にし、自分なりの考えの根拠を見つける手がかりとする。

仮説2に関わる手立て

- ・自分の演奏を振り返る場面やリズム遊びの場面でICTを活用する。

～6年生～

仮説1に関わる手立て

- ・前時とのつながりを大切にし、自分なりの考えの根拠を見つける手がかりとする。

仮説2にかかわる手立て

- ・自分の考えを伝えたり相談したりする活動や、自分の演奏を振り返る活動を取り入れる。

5 題材の目標

<5年生>

- 拍の流れにのって、フレーズや旋律の流れ、パートの役割を生かして表情豊かに表現する。
- 時の移ろいや自然などの、情景を想像しながら、拍の流れに乗って表現する。

<6年生>

- 音楽の仕組みを生かし曲想をとらえて、曲に合った表現を工夫する。
- パートの役割や、ほかのパートとのかかわりを意識し、聴き合いながら演奏する。
- 友達と一緒に表現する喜びを味わい、アンサンブルを楽しむ。

6 単元の評価規準

<5年生>

（音楽への関心・意欲・態度）

- 歌詞や曲想を感じ取ったり、仕組みを生かして演奏したりすることに興味・関心を持ち、豊かな表現を求めて主体的に音楽活動に取り組もうとしている。

（音楽表現の創意工夫）

- 拍の流れや声部の動きなど、音楽を形作っている要素を聴き取り、それらの働きが生み出す良さや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図を持っている。

（音楽表現の技能）

- 音楽表現をするための基本的な技能を高め、歌ったり、楽器を演奏したりしている。

<6年生>

（音楽への関心・意欲・態度）

- 歌詞や曲想を生かして演奏したりすることに興味・関心を持ち、豊かな表現をめざして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。

（音楽表現の創意工夫）

- 音楽を形作っている要素やかかわりを聴き取り、それらが生み出す良さなどを感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。

（音楽表現の技能）

- 歌詞の内容や曲の構成を理解し、全体の響きや伴奏を聞きながら、ふさわしい表現の仕方では表情豊かに演奏している。

7 指導計画

<5年生>

時	ねらい	主な学習活動	評価規準 評価方法	指導上の留意点
1	○ 拍の流れにのって、フレーズや旋律の流れ、パートの役割を生かして表情豊かに表現する。	◇「風とケーナのリモンス」の曲の感じをつかむ。 ・フォルクローレの生まれた場所の特徴を知り、曲のイメージを持つ。 ・8分の6拍子について理解し、曲に合わせて式の練習をする。 ◇拍の流れにのり、旋律のまとまりを感じて歌ったり合奏したりする。 ・パートの重なりや掛け合いを意識して歌う。 ・拍の流れにのり、リコーダーで演奏する。	技「風とケーナのリモンス」を8分の6拍子の流れにのり、リズムや音程に気を付けて歌唱したり、音色に気を付けて演奏したりしている。 ■演奏時の様子の観察・歌声や演奏の聴取	
2		◇拍の流れにのり、旋律のまとまりを感じて歌ったり合奏したりする。 ・拍の流れにのり、パートの重なりや掛け合いを意識して二部でリコーダー演奏をする。 ◇曲の特徴や曲想を生かした表現の工夫をする。 ・打楽器の音色の違いやリズムの違いによる表現の工夫について考える。	関パートの重なりや、掛け合いなど音楽の縦と横の関連が生み出すよさや面白さを感じながら「風とケーナのリモンス」の表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 ■話し合いの様子・演奏時の様子の観察	
3 (本時)		◇曲の特徴や曲想を生かした表現の工夫をする。 ・曲想に合った打楽器を選択し、リズム伴奏を工夫する。 ・友達の演奏の良いところ、工夫しているところに気付く。 ・感想を発表し合う。	創楽器の音色、旋律のまとまり、音の重なりを感じ取り、パート同士のかかわりを活かした曲想の表現を工夫し、「風とケーナのリモンス」をどのように演奏するかについて自分の考えや願い、意図を持っている。 ■練習や発表場面での演奏の聴取	
4 ～ 5	○ 時の移ろいや自然などの情景を想像しながら拍の流れにのって表現する。	◇「冬景色」の情景を想像しながら歌う。 ・範唱を聞いて感じたことを話し合う。 ・情景を想像しながら詩の流れや言葉の響きを確かめる。 ・歌詞の理解や話し合いを元に情景を想像しながら歌う。 ・3拍子の流れに乗って2部合唱する。	関「冬げしき」の歌詞の内容や、曲想をいかして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ■歌っている表情や様子の観察、歌声の聴取	

<6年生>

時	ねらい	主な学習活動	評価規準口評価方法	備考
1	○音楽の仕組みを生かした表現を工夫する。	○「明日を信じて」の主旋律を歌う。	関 歌詞の内容を味わい、曲想を生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ■ 歌っている様子の観察、歌声の聴取	
2		○「明日を信じて」の2部合唱をする。		
3 (本時)		○「明日を信じて」の歌詞の内容や曲の構成を生かした表現の工夫をする。	創 強さや歌い方を変えて、自分たちの心情にあった表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願い、意図を持っている。 ■ 発言、歌声の聴取	
4	○パートの役割や他のパートとの聞き合いながら演奏する。	○「ス ワンダフル」の曲の感じをつかみ、リコーダーで演奏する。	技 リズムにのって、正しい音で演奏している。 ■ 演奏の様子の観察、演奏の聴取	
5		○「ス ワンダフル」のパートの役割について考えパートごとに練習する。		
6		○「ス ワンダフル」の演奏の仕方を工夫する。	創 表現の良さを感じ取ったり、表現の工夫に気づいたりしながら聴き、自分の表現に生かすための考えや願い、意図を持っている。 ■ 発言の内容、活動の様子の観察	
7	○友だちと一緒に表現する喜びを味わい、アンサンブルを楽しむ。	○「ス ワンダフル」の合奏を発表する。		

8 本単元に関わる児童の実態と支援計画～省略

9 本時の指導計画

◎本時の目標

<5年生>『風とケーナのリマンス』

- ・楽器の音色の特色を生かして工夫して演奏しよう。（音楽表現の創意工夫）

<6年生>『明日を信じて』

- ・曲にふさわしい表現を工夫しよう。（音楽表現の創意工夫）

◎本時の展開

時	教師の働きかけ	第5学年学習活動	第6学年学習活動
課題把握・5分	課題1 ㊦『明日を信じて』の曲の構成を考えて、強弱を工夫しよう！		
	○「明日を信じて」の曲の構成を考えさせる。	○「明日を信じて」の高音部の練習をする。	○「明日を信じて」の曲の構成を考える。（ワークシート） ・ア～斉唱で語り掛けるように歌うところ ・イ～掛け合いになるところ ・ウ～音を重ねて盛り上がるところ
解決、努力・10分	○自分の意図や思いを表現するために、どんな強弱をつければいいのか考えさせる。 ○歌っている様子をタブレットで記録し、振り返らせる。 （仮説2に関わって）	○自分たちで考えた強弱をつけ、楽しみながら歌い、感想を述べる。	○自分の意図や思いを表現するために、どんな強弱をつけ、どんな歌い方をすればいいのか考える。 ・アは優しく静かに（P） ・イはだんだん強く（クレシェンド） ・ウは一番強く（mf） ○自分たちで考えた強弱をつけて、楽しみながら歌う。
復習・5分	○IT教材を使って、8分の6拍子のリズム遊びやリズムうちの練習をさせる。 （仮説2に関わって）	○8分の6拍子のリズム遊びやリズムうちの練習をする。	○8分の6拍子のリズム遊びやリズムうちの練習をする。
課題把握・5分	課題2 ㊦『風とケーナのリマンス』の曲にあった楽器やリズムを考えて演奏しよう！		
	○イメージに合った打楽器を選択しリズム伴奏を考えさせる。	○どんなイメージで伴奏を作るか、考える。（ワークシート）	○バスマスターで演奏の練習をする。 ・音色を考える。 ・楽譜を見ながら練習する。
解決・努力・15分	○イメージに合った打楽器を選択し、リズム伴奏を工夫させる。 ・自分で考えたリズムをいれてもいいし、リズムを組み合わせてもよいことを知らせる。	○イメージに合った楽器を選び、リズムを考える。（リズムカード） <振り返りカードの活用> ・楽器の音色とイメージ （仮説1に関わって） ・アンデスの山々を渡る風の音を表現したいから、タンバリンを使おう。 ・ウッドブロックの音は広い大自然を表現できそうだ。	

まとめ・10分	○演奏の様子をビデオに録る。 (仮説2に関わって) ○ビデオを見ながら、感想を述べ合う。 「〇〇さんは～なイメージで楽器やリズムを選びましたが、どうですか？」 ○今日の学習を振り返りながら、学習のまとめをさせる。	○演奏の様子をビデオで振り返り、鑑賞する。 ○お互いの演奏の良いところを交流する。 ・〇〇さんのイメージがよく伝わりました。 ○今日の学習を振り返りながら学習のまとめをする。	○演奏の様子をビデオで振り返り、鑑賞する。 ○お互いの演奏の良いところを交流する。 ・選んだ楽器はいいと思うけど、リズムはもっとゆったりした方が合うと思います。 ○今日の学習を振り返りながら学習のまとめをする。
	④ 曲に強弱をつけたり、いろいろな楽器でリズム伴奏を工夫したりすることで、曲のイメージが表現できる。		

◎本時の評価

<5年生>

- ・8分の6拍子の流れにのり、楽器の音色やリズムを工夫して演奏している。

<6年生>

- ・強さや歌い方を変えて、どのように歌うかについて考えや意図をもって工夫している。

10 板書計画

課題1

④「明日を信じて」曲の構成を考えて工夫しよう！

- ・ア～斉唱で語り掛けるように歌うところ
- ・イ～掛け合いになるところ
- ・ウ～音を重ねて盛り上がるところ

感想

- ・盛り上がるころの迫力があってよかった。
- ・はじめをもう少し小さくしたらいいと思った。

課題2

④「風とケーナのロマンス」の曲にあった楽器やリズムを考えて演奏しよう！

〇〇さん

○ウッドブロック～アンデスの大自然の乾いたイメージ

感想

- ・力強いリズムがイメージに合っていた。

〇〇さん

○トライアングル～コンドルの鳴き声

感想

- ・コンドルの鳴き声にはもっとゆったりしたリズムが良いと思う。

④ 曲に強弱をつけたり、いろいろな楽器でリズム伴奏を工夫したりすることで、曲のイメージが表現できる。